

2 学年の授業研究

1 単元名「体づくり運動」(多様な動きをつくる運動遊び)

～わくわくランドにレッツゴー!～

H27, 10, 27 5校時

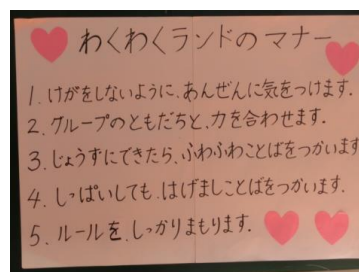
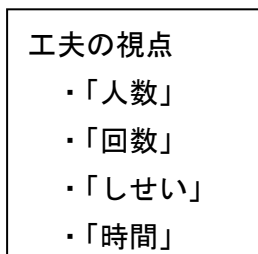
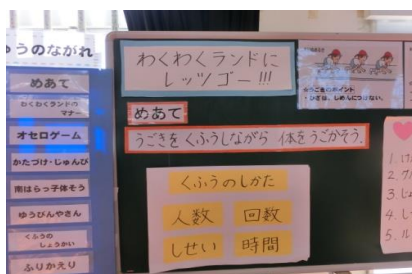
2 本時の学習

① 本時の見所

- ・「南原っ子元気体操」を行うことで、リズムに合わせて体をほぐすことができる。
- ・運動が苦手な児童も、楽しみながら取り組むことで基本的な動きを身に付けることができる。
- ・グループでアイデアを出し合うことで、運動の行い方を工夫することができる。

② 学習の様子

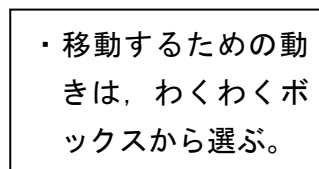
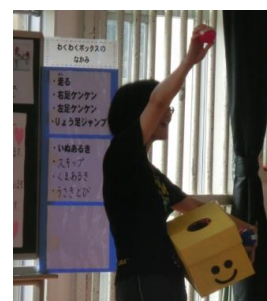
導入 (学習の流れ, めあて, わくわくランドのマナーを確認する。)



展開 (1) 体を移動する運動遊び (【スピードランド】・オセロゲーム)



・動きのポイントの確認。「いぬあるき」「くまあるき」「うさぎとび」



(2) 南原っ子元気体操 (体の伸び縮みや手首の動きを意識させる。)



(3) 用具を操作する運動遊び (【なわとびランド】・「ゆうびん屋さん」)



・一人でできる回数を増やす。

・人数を増やす。

うごきのポイント

リズムにあわせてとぶ。

うごきのコツ

カエルのように、ひざをまげてとぶ。



・人数(2人, 3人)と向き(向かい合う)を変える。

まとめ (学習の振り返り)

なわとびをして、体がポカポカしました。



3 授業後の感想

○なわとびランドで、ときどきひっかかってできなかったけど、グループのお友だちと力を合わせたら、だんだんできるようになりました。たくさんとべるようになって、たのしかったです。さいごまでみんなとがんばれてよかったです。

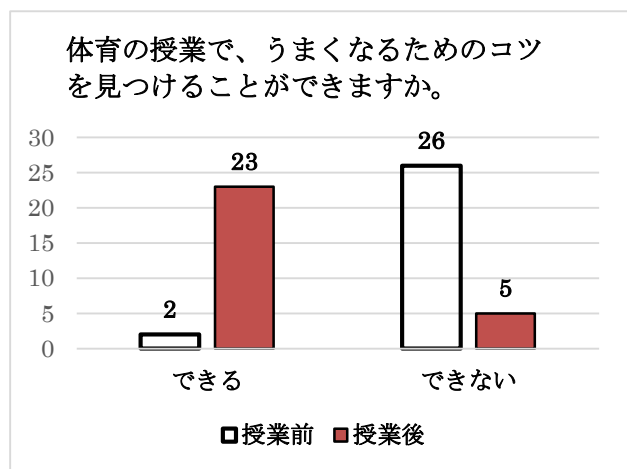
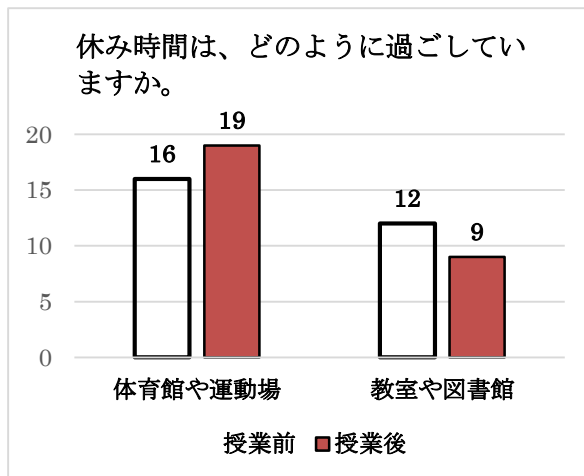
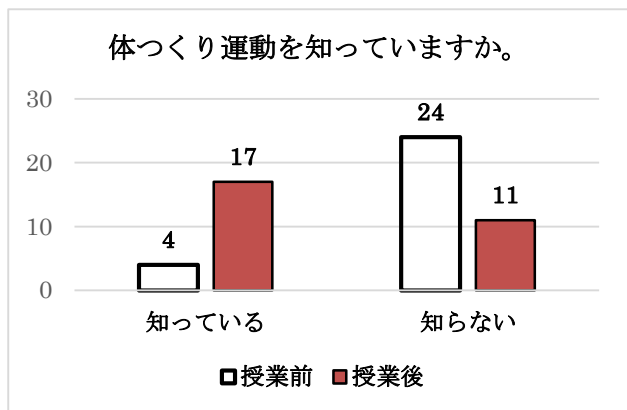
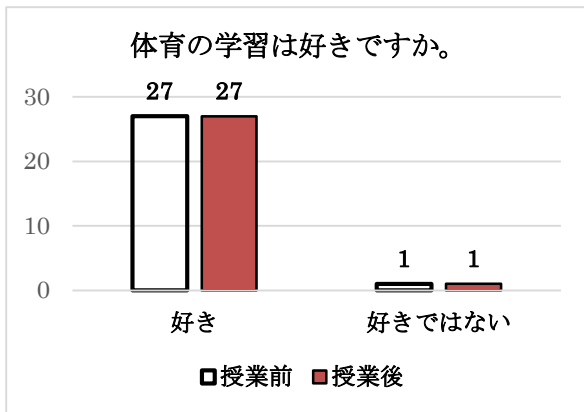
○ゆうびん屋さんのかずが、はじめて1から4までふえました。いい気分でした。またやってみたいなと思いました。

○スピードランドで、どうぶつあるきをやって、お友だちがそのコツをおしえてくれて、たくさんあるけました。はじめて知ったし、おもしろかったです。

○わたしはしょっちゅうまけたけど、どうぶつの歩き方のコツとか、たくさんまなんでもってました。たまにお家でもやります。ちょっとむずかしいところもあるけど、がんばります。

○わくわくランドをして、楽しいことやむずかしいこと、ふしぎなこと、たくさん思い出ができました。三年生になってもつよい体をつくれるといいなと思いました。

4 授業前後のアンケート比較



5 成果と課題

【成果】

- 体を動かすことの大切さに気付き、休み時間や放課後に進んで体を動かす児童が増えた。
- 体を動かすことが苦手だと感じている児童が、友達と関わりながら笑顔で体を動かすことができた。
- 体を動かす時に動きのコツを意識して考えたり見つけたりすることができるようになった。

【課題】

- 一つ一つの動きを丁寧に指導し、動きの質を高める指導の工夫。
- 学び合いの場（言語活動、コツの共有等）を生かす指導の工夫。
- 多くの運動遊びの場を設定したり紹介したりし、様々な動きを体験させる必要がある。